

20th
ANNIVERSARY

我ら歴史の糸を紡がむ

Develop Your New Stage

1995.4 No. 96

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 藤居 忠弘 編集責任者 小原 得雄 印刷所 東京印刷株

速報 次年度会長 阿部氏に決定!

去る3月15日(水)、ホテルわこうにおいて臨時総会が開催され、次年度会長に阿部信行氏が選出された。

臨時総会では、先ず議長に松本副会長を選出、藤居会長より次年度会長に阿部信行会員を推薦したい旨発表があり、満場一致で承認された。

阿部氏は、西部青年中央会に16年間在籍し、平成2年には副会長として、又、先の20周年記念事業開催に当っては実行委員長として、これまで数多くの行事を運営される等経験は十分である。

藤居会長のもと、20周年を契機に「これからの中央会のあり方」について中長期ビジョン検討委員会で検討が進められている。次年度会長としての阿部氏の手腕が期待される場所である。



企業説明会実施に当って

労務委員会 藤森 秀樹

労務委員会では、年間のテーマに従い、何らかの実績を作り上げることを目標に、活動して参りました。委員会前半では、特に若年層の就職希望者の雇用問題について勉強してきました。

皆様もご存じの通り、高校の就職希望者は、直接の就職活動はできません。従って、「両親からの情報」と「学校の就職担当先生からの情報」を頼りに生徒自身の就職先を選択しているのが現状です。特に、就職担当先生からの情報と指導は、こういった生徒達の将来を大きく左右することになります。

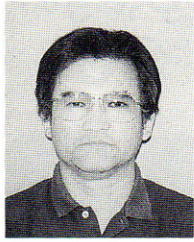
しかし、学校の就職担当先生には、地域企業の業務内容等を十分に理解される機会は殆ど無く、生徒への就職指導は、企業から入手した簡単な企業案内だけで、時には、企業名と業種だけで生徒の進路指導をしておられるのが実情です。

その為に、生徒の意思・希望とそぐわない就職が発生し、早期退職者を生むなど、生徒の側にとっても、企業の側にとっても不本意な結果をもたらすケースも有るようです。

こういった事から労務委員会では、地元で就職を希望する、特に「高校生の就職希望者の方に」できるだけ多くの地元企業の情報を提供したいと思い、その手段として、地元高校の就職担当先生対象の企業説明会を企画したわけでありませう。

お陰様で今日現在22~3社様よりご賛同を得、又この企画を西部青年中央会の活動の一環として捉えて頂き、藤居会長はじめ皆様に感謝しております。

この企画が永続的に続けられるよう、又その基礎となれるよう、残った3か月を掛け最大の努力をしたいと思ひます。



第17期卒
川本 孝一郎 氏

— 20周年に寄せて —

今回はOBの中から第17期ご卒業の川本OBにお願いしました。

西部青年中央会創立20周年も昨年無事各イベントも終り、会員諸氏には少しゆったり気分の中での活動ではなからうかと思われま。時の過ぎるのは本当に早いもので、私も青年という二文字から仕方なく引き裂かれてからはや4年目を迎えております。毎回HANDSOMEを見るたびに諸先輩の方々の記事を読ませていただき、なかなか旨く、また、いいお話を書いておられるなあと感心させられ、もし自分にその機会がきたら果してどうするか(実は全く予想していなかった)と思っていたところ、2月21日広報委員会より連絡があり今回誠に苦手ではありますが、ペンを取らせていただきました。私は他の方々のように、政界、経済界等々の事は一切書きません。あくまでも自分の気持ちを書かせていただこうと思っています。私も青年中央会の活動を12年間もやって参りましたが、人間とは勝手なもので、4年前に卒業を迎えるにあたった時、やれやれや

っと解放されたかと、喜び勇んでおりましたが、少し時間が経つと寂しくなり連絡があるのを待つような感じになります。ところが葉書がくると適当な用事を見つけて欠席、実の所OB会も過去二回出席しただけです。(スママセン)ともあれ絶えず気になるのが、この中央会の良さだと思えます。この私が気になる西部青年中央会早や20年、今後どうあるべきか、小生はそんな事をそれぞれ、学識、良識、見識ある後輩諸君に言える立場ではありません。でも一言だけ言わせていただければ、せっかく目的があって入会したわけです。一人でも多くの本音で付き合える友人を作っていたいだきたい。建前だけではダメです。会員も益々増えていくと思います。地域社会に於いても存在のある団体ですが、20年過ぎたこれからは、本音で語り足元を固め背伸びをせず、自分自身のために中央会を益々発展させて下さい。

3 月 例 会 報 告

労務委員会担当の3月例会では、県立西部健康増進センター体育指導員の小原工氏による「皆生から世界へ」と題する講演がありました。

前半は、自分のスポーツ歴、トライアスロンに取り組むようになったきっかけ、そしてどのようにして一流選手になっていったかという内容でした。小学校の頃から水泳を始めたが、中学校時代の恩師に長距離を勧められたおかげで記録を伸ばすことができ、県記録を更新するまでになったこと、由良育英高校時代、仙台大学時代には水球選手で活躍したが非常に練習が苦しかったこと、弟と一緒に見た皆生トライアスロンのゴールシーンに感動してトライアスロンを始めたこと、初参加の皆生では50位に終わったが、何年かかっても優勝したいという気持ちがゴールの瞬間、心の中をかけめぐったこと、そしてそれがきっかけとなり苦しいトライアスロンの練習に本格的に取り組むようになったこと、仕事の前後や休日等に猛練習をして、3年目に皆生大会で優勝して(弟が二位)まず最初の夢がかなったこと、その後ショートの大会で大活躍してプロになるよう強く誘われたが、米子が大好きであり、理解のある職場で地元の人達の温かい声援に支えられ、仕事をしながらでもやれることを証明したくてプロの道を断ったこと、その後

もがんばって練習して世界選手権へ日本代表として出場し日本人最高の成績を納めて次の夢がかなったこと、現在の夢は5年後のオリンピックに出場することであることを話された。そして、後半はスライドを交えて、世界のトライアスロンの現状、世界の一流選手の様子などを説明されました。

与えられた環境の中でベストを尽くし、困難に勇気を持って挑戦し、ひとつひとつ自分の夢を実現していくことの素晴らしさに感動するとともに、選手とボランティアが一緒になって盛り上げていくというトライアスロンの原点を色褪せず残している皆生大会の長所を再認識しました。我々も小原選手とともに、95年の皆生トライアスロン記念大会を盛り上げていこうではありませんか。



委 員 会 訪 問

— 労 務 委 員 会 —

今回の広報委員会による各委員会訪問取材は、労務委員会を取材させていただいた。

3月20日(月)食品会館に於いて、藤居会長、松本副会長他10名の出席にて開催された。慣例により綱領唱和に始まり、会長あいさつ役員会報告そして本日のメインテーマである企業説明会実施について、日程等議事が進行していった。藤森委員長ひきいる労務委員会は、「急速な高齢化社会を迎えるにあたり若年労働者の不足など今後の労務問題を研究する」と言う年間テーマを設定し、各分野からの講師を招いて、労務、若年労働者の雇用問題について、勉強して来たようである。ここまでは、今までの各委員会活動

に見られるパターンであるが今年の労務委員会は、これをさらに結果を出すべく「年間の委員会活動で何らかの実績を造り上げる」事を目標にかかげ今期間内の地元高校就職担当の先生を対象に「企業説明会」を実施する事となった。尚、実施するにあたり松本副会長、藤森委員長をはじめ各会員は、関係者の協力を得る為にたいへんな苦労があったようである。今回参加される22社の企業の方、会員の皆様、労務委員会の努力を無駄にする事なく、この企業説明会が成功裡に終了する事を、将来定期的に実施されるようご協力よろしくお願い致します。

H. M.

中長期ビジョン検討委員会報告

第6回以降の中長期ビジョン検討委員会の活動が一層熱を帯びてきた。3月に入ってから、4月に各委員会での実施を予定している分科会のテーマ担当グループと、それに先立って行われるアンケート担当グループとに分かれ、各グループとも深夜に及ぶ討議が連日にわたって行われた。3月22日の各小委員会ではいずれも大詰めの検討が行われたが、分科会のテーマ並びにアンケートの内容についてもほぼ固まり、小原副会長、柴谷委員長以下各委員の表情にも5月例会成功に向けての自信がうかがえた。

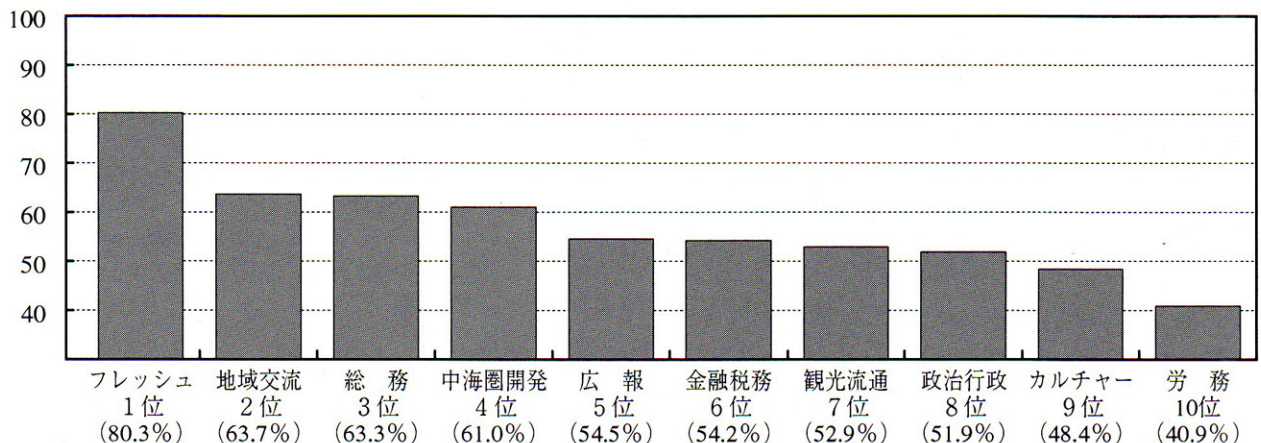
アンケートは4月上旬に実施される予定、また、当委員会で検討された、分科会テーマ及び担当委員会は次の通り。

政治行政	政治行政	／青年経済団体として政治と行政機関との関わり方
金融税務	事業計画について	／例会
観光流通	事業計画について	／単年度事業と継続事業について
カルチャー	事業計画について	／委員会構成とその活動について
地域交流	地域における自主活動	／各種ボランティア活動について
労務	地域における自主活動	／地域住民を対象として西部青年中央会主催のイベント開催
中海圏開発	地域における自主活動	／問題の提言・他団体との連携
広報	西部青年中央会の位置付け	／団体中央会（親会）県青年中央会、OB会、他団体との関係は今後どの様にあるべきか
フレッシュ	組織	／変遷する時代の中でこれからの西部青年中央会の組織、規模運営形態について考える
総務	会員の意義とは	／各自どのように青年中央会の会員としての認識をもっているか

全員参加により20年目の総決算とも言えるべき5月例会を是非とも成功させたいものである。

恒例

例会出席率ランキング中間発表!!



【講評】

やはり予想通りフレッシュがダントツ第1位。出席義務80%の新入会員はもとより足立委員長の人柄であろう。第2位に輝いたのは景委員長の率いる地域交流、今年のトライアスロンは、第15回の記念大会である。各会員の今大会にかける意気込みを感じる。続いて第3位は総務委員会、7月より93%→93%→66%→53%→50%→50%と右下がりとなっているのが気にかかる。6月にはゼロにならないよ

う気をつけたいものだ。以下、中海圏・広報・金融・観光・政治・カルチャーとほとんどどんぐりの背くらべ、今後の出席率に注目したい。どうした労務、3月の68%を除いてコンスタントに30~50%を保ったまま、真面目な藤森委員長の深刻な顔が目にかぶようだ。あと3回汚名返上に向かって努力して欲しい。

ようこそ新入会員

運動会開催のご案内

日時 平成7年5月21日(日)
9時30分~16時
場所 東山サブグランド
(雨天、市民体育館)



妻の本音

牛込 安子



開けっ広げで少々そっかしい私と、人付き合いは下手だけど思慮深く落ち着いた着きのある主人。性格的には全く正反対の二人が出会ったのは今から13年前のことでした。二人とも東京からのUターンでしたが、お互いを生涯の伴侶だと確信したのは3度目のデートで出雲大社に行った時のこと。縁結びの神様のなせる技でしょうか、初対面では意識しなかった不思議な感情でした。学生時代からこつこつと買い揃えた

主人自慢のオーディオから、当時よく聞いていたお気に入りのジャズのナンバーが流れてくると、今でも当時の記憶が蘇ってきます。近頃はあまりやりませんが、スポーツの苦手な私にテニスやスキーを熱心に教えてくれたこともありました。朝も早く不規則になりがちな毎日を送っているあなたに一言、「これからは健康第一で、お互いうんと長生きしましょうね。」

聞いてごしない Part 8

「普通」

最近よく「普通」について考える。この「普通」という言葉、解ったようで解らない。辞書には「広く一般に通じていること」とか、「世の常」、「なみ」、「通常」などと書いてある。何となく解ったような気になるが、もう一つ理解できない。と言うのは、余りにも多くの種類「普通」が存在するからだ。

日常の「普通」を考えてみる。例えば、普通の家、普通の暮らし、普通の日、普通の時間、普通の人、普通の顔、普通の頭、普通の本、普通の服、普通の格好、普通の車、普通の結婚、普通の会話、普通の場合、普通どおり、普通の考え、普通の大きさ、普通の固さ、普通の感じ、普通の何々……。いろいろある。こういった「普通」を、我々は日常生活の中で思うがままに使っている。会話の中で時折「おやっ」と感じることもある。それは、人それぞれが全く異なった基準で「普通」をもっていることから起こることで、そうした場合、我々は相手の価値基準の中の「普通性」を感じ取り、相手の性格、考え方を知るのである。この「普通」は、環境や時代に大きく影響を受け、形成されていく。

最近の若者と話す時、よく感じるのはこの「普通」に対する感じ方の違いである。いろいろな話題の中で「これっておかしいよな」と投げかけると、よく「そうですね？」とか「普通だと思いますけど……」と返答が返ってくる。また、男女の交際、特に性の問題について女子高生は「別に好きだったらいいんじゃないですかあ。私の友達みんなそうですよお」と平然と言っている。こういった会話の後は決まって「今、こういうのって普通ですよお」である。また、求職者の面接の際、「学生時代勉強が出来ましたか?」、「あなたは責任感がありますか?」とか尋ねると、決まって答えは「普通だと思います」である。こういうのを採用した結果は、大抵「普通以下の以下」である場合が多い。

連日の深夜に及ぶ残業に追われ、やっとのことで自宅に辿り着く。温かく迎えてくれるはずの楽しい我が家は、外灯が消え真っ暗である。一気に怒りが込み上げ、合鍵をもっているにもかかわらず自棄になってインターンを鳴らす。誰一人起きてくる者はない。郵便受けの透き間から怒鳴ってみる。「オーイこらあ、開けやれ!」……無駄である。結局、自ら重いドアを押し開け、外灯を点ける。居間は冷えきっていて、食卓には食事の用意のかけらさえない。それどころか食い散らした残骸がそのまま。情けない……ヤッパリ我が家も「普通の家庭」ではないのだ。メシぐらい作れ、バカヤロー!!

(文・てなぐさみ)

4月例会案内

日時 4月18日(火) 18:30~
場所 平安閣
講師 鳥取大学工学部応用数理工学科教授 久保昇三氏
演題 「環日本海時代の夢の超高速艇」
担当 カルチャー委員会

環日本海時代の新交通システムとして、表面効果翼艇を研究・開発中の久保先生にお話を伺います。当日は、低コストで大量輸送が可能な新交通システムについて、興味深いお話が聞けることと思いますのでぜひご出席下さい。

※出席の有無を4月12日までに返信ハガキにてご回示下さい。

4月役員会報告

4月定例役員会が4月1日(土)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 4・5月例会(臨時総会)開催の件
- (2) 次年度副会長・理事・監事候補推薦の件
- (3) 収支見込みの件
- (4) 運動会実施の件
- (5) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

連絡事項

社名変更のご案内

森永修二氏(副会長) 谷口 勉氏(広報委員会)
旧 (株)山陰冷食
新 (株)さんれいフーズ
住所・TEL・FAXは従来と同じ

新会社設立のご案内

砂田秀雄氏(地域交流委員会)
旧 (株)リード盟通
新 (有)エスプランニング 代表取締役
米子市道笑町4丁目54-2
TEL35-8525 FAX34-0165

会社変更

芥屋三千夫氏(広報委員会)
旧 皆生シーサイドホテル
新 皆生御苑 別館芙蓉
TEL34-0009 FAX34-1009

編集後記

4月になると入学、進学、就職何かと慌ただしい弥生月ですが、皆様の関係子女はいかがだったでしょうか。また、この頃には桜のツボミもふくらみ三々五々街中に明るい話題がチラチラしていることと思います。そして、また皆様の真価を発揮する時期でもあるかと存じます。